



大正初期の生駒山宝山寺  
大和名勝写真帖より



昭和 30 年生駒聖天  
写真撮影：厚見昌彦氏



現在の生駒宝山寺本殿と  
般若窟

### 【30】 生駒山宝山寺

生駒山は伝承によれば斉明天皇元年（655 年）に役行者が開いたとされる修験道場で、空海（弘法大師）も修行したと伝わる。江戸時代の延宝 6 年（1678 年）に湛海律師が再興し、歓喜天を祀った。この時が事実上の開山と思われる。江戸時代には、宝山寺は商売の神として大阪商人の信仰を集めた。京都の皇室や江戸の徳川将軍家、郡山藩主柳沢家からの祈願もあり、聖天信仰の霊場として名高い。大正 7 年(1918 年)には日本最初のケーブルカー、生駒鋼索鉄道（現、近鉄生駒鋼索線）が敷設されるほどだった。

後方に見えるのが般若窟。